

地方創生SDGs 官民連携 プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



非営利活動法人マインドフルネス総合研究所・SDGsの位置づけ

マインドフルネス SIMT と直接的に関係するターゲット

私たちの主な事業は、他の治療法では治りにくいうつ病、不安症、PTSD などの精神疾患や対人関係の難しさで困窮する人々に対してマインドフルネス心理療法 SIMT(注1)を用いて支援することにより、社会的な活動に参画できるようになり自殺することを防止することです。

このような活動は、SDGsに親和的であることを知りました。

直接のターゲットは3. 4であり、**非感染性疾患**によらない死亡として、自殺を減少させること、また、自殺をもたらすうつ病などの精神疾患が治らないことで、休退職し、引きこもりを余儀なくされて、生きがいを感じることができず困窮している人々の支援です。

私たちの事業は、直接的には、3. 4(赤字)のターゲットの貢献に関連すると思われます。そして、ターゲット3. 8のパートナーシップが可能であれば、自治体、NPO,病院などとの共同事業ができれば、支援できる範囲が広まるでしょう。

マインドフルネス SIMT は SDGs のすべての Goalsに関係

西田哲学の実践論には、ポイエシス即プラクシスの指針があります。

真剣に検討してみると、西田哲学のいうポイエシス即プラクシスは、すべての SDGsのGoalsに関連しています。プラクシスとは、人間内面の成長だからです。どのような事業であろうとも、遂行するのは人間だからです。その時に、人道的な倫理的な配慮をもって、つまり自分の行為がエゴイズムではないかを観察し抑

制しながら事業を遂行しているかを自己批評することは誰もが実現すべきだからです。この点は、もう少し詳しく述べます。

(⇒ マインドフルネス SIMT は SDGs のすべての Goalsに関係)

(⇒ブログ <https://blog.canpan.info/jitou/archive/4718>)

マインドフルネス SIMT と親和性の高いターゲット

そうはありますが、黒字のターゲットは、私たちが提供できるサービスを会員と共同で実施して下さることで、その団体がターゲットを実現できることと思います。

(⇒ マインドフルネス SIMT と親和性の高いターゲット)

(⇒ブログ <https://blog.canpan.info/jitou/archive/4717>)

(注1)SIMT: 自己洞察瞑想療法、Self Insight Meditation Therapy

参照:大田健次郎(2013)『うつ・不安障害を治すマインドフルネス』佼成出版社

大田健次郎(2014)『 不安、ストレスが消える心の鍛え方

——マインドフルネス入門』清流出版

ホームページでの紹介:top>マインドフルネス心理療法 SIMT とは